

既存インフラをよみがえらせる未来インフラ

2019年2月22日

老朽化したインフラを解析する新技術 膨大な収集データはテクノロジー・インフラの需要を高める

インフラ老朽化の対策は 焦眉の急

高度経済成長期にあった1964年、日本初のオリンピック開催に向けて、国内の道路や橋、トンネルなどの従来型のインフラは集中的に整備されました。しかしながら、現在ではこれらが急速に老朽化が進むことが懸念されています。国土交通省は、2023年3月時点で、全体の約30～40%が建設後50年を経過する「老朽化インフラ」になると試算しています。その後も加速度的に老朽化比率は高まり、これらをいかに維持管理し、更新していくのが大きな課題となっています。

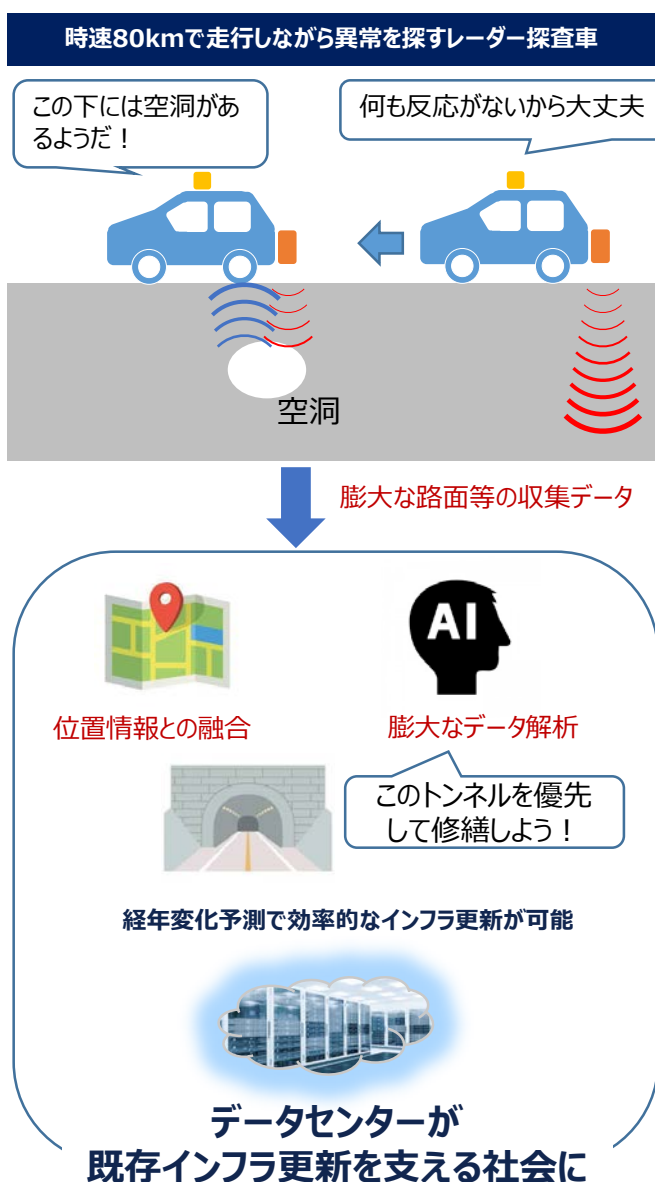
道路や橋などの膨大なデータをスピーディーに収集する新技術

これまではマンパワーに頼ることの多かったインフラ点検作業ですが、スピーディ、かつ膨大なデータを集められる新技術が開発されています。電磁波レーダーを搭載した車両が走行するだけでトンネルや橋、道路の路面の下の空洞・舗装の劣化を見つける技術です。一度走行すると路面の画像データを得られるほか、地中を3次元で把握し、レーダーの画像から空洞を検出します。時速80kmで走行しながら調査可能で、車両にGPS等を装備することで、位置情報と融合したデータに変換することもできます。

既存インフラの“より広範”で、“より大量”の老朽化データの収集は、国土強靱化を目的にさらに需要が増すものと思われ、データセンター需要がさらに高まるが見込まれます。

経年変化の予測も視野に 収集データをビッグデータ化

収集したデータはアルゴリズムやAIで解析しつつ、位置情報と融合したビッグデータとなり、インフラの経年劣化を予測できるようになり、効率的な修繕が可能になります。既存インフラの更新需要に相乗して、データセンターの需要が高まるが見込まれます。



※上記はイメージです。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。
左記QRコードが読み取れない場合は、2ページ目に拡大したQRコードを載せていますので、ご利用ください。



特設サイト「AIやIoTが引き起こす第4次産業革命を支えるTECHNOLOGY INFRASTRUCTURE テクノロジー・インフラ」公開中。
左記QRコードもしくは (https://www.pinebridge.co.jp/fund/40311181/tech_infra.html) からご覧ください。

ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号
加入協会：一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会